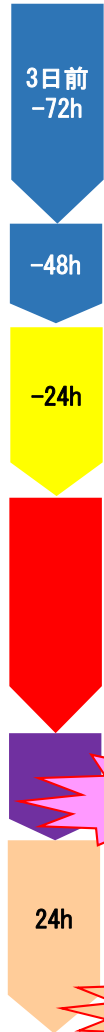


# ため池タイムライン (新堤池)

気象情報  
時間軸



事象・気象情報	ため池管理者	恵那市			参考
		農林部 農政課	総務部 危機管理課	周知すべき住民の行動	
<b>事象</b> 大雨の可能性がある 大雨の可能性が高くなる ため池損壊に及ぶ大雨の恐れがある 大雨が始まる、降雨の強さが増す ため池の重大な損壊に繋がる豪雨の恐れがある	前線移動等による豪雨予測 ため池管理アプリ等確認(事前点検) 点検時水位の入力 土砂キキクル等気象情報を注意深く確認(10分ごとと更新される2時間先の危険度情報)	ため池防災支援システムの入力数値の確認(洪水吐高さ、水位等) 各種協力機関の体制確認 施設保全に係る資材の確保等 ため池管理アプリ等確認	総務部危機管理課	周知すべき住民の行動 ○浸水想定区域図及び避難経路等確認 ため池状況の情報共有 ○インターネット等による大雨、河川の状況確認(土砂、洪水キキクル) ※必要に応じて避難準備	<b>気象情報 洪水キキクル</b> (洪水警報危険度分布)
ため池上流等、土砂災害発生危険度高まる	<b>大雨注意報</b> (警戒レベル2)	<b>情報共有 自治会長へ連絡</b> ※警戒レベルが高い時は待機 <ため池に近づかない>	<b>&lt;赤「危険」&gt;</b>	<b>避難行動は日中での実施が原則!</b> ○避難行動	<b>洪水注意報</b> (警戒レベル2)
<b>ため池被災の危険性増大</b>	<b>大雨警報</b> (土砂災害) (警戒レベル3相当)	<b>ため池管理アプリ状況確認</b>	<b>情報共有・必要に応じて避難情報の発信</b>	<b>○避難行動</b>	<b>大雨警報</b> (浸水警報) <b>洪水警報</b> (警戒レベル3相当)
<b>ため池損壊等異常発見</b>	<b>土砂災害の危険度分布「警戒」</b> (警戒レベル3相当)	<b>ため池管理アプリ等にて緊急点検報告受理</b>	<b>必要に応じて避難情報の発信</b>	<b>○避難行動</b>	<b>氾濫危険情報</b> (警戒レベル4相当)
<b>ため池に係る重大な災害が起こる恐れが著しく大きく非常に危険な状態にある(数十年に一度の豪雨が予想される)</b>	<b>土砂災害の危険度分布「非常に危険」</b> (警戒レベル4相当)	<b>ため池管理アプリ等にて緊急点検報告実施・報告</b>	<b>必要に応じて避難情報の発信</b>	<b>○避難行動</b>	<b>氾濫危険情報</b> (警戒レベル4相当)
<b>ため池損壊等異常発見</b>	<b>大雨特別警報</b> (警戒レベル5相当)	<b>重大な異常の把握</b> 緊急放流、補修による応急復旧対策	<b>必要に応じて避難情報の発信</b>	<b>○避難行動</b>	<b>氾濫危険情報</b> (警戒レベル4相当)

ため池諸元	
新堤池	貯水量 1,800m3 堤高 5.7m 洪水吐形式 水路流入型 改修歴 平成29年度
関係者連絡先	
西山大堤 水利組合長	
永田上二 自治会長	
恵那市 農林部農政課	0573-26-2111
防災行政無線、恵那市メール配信サービス	
○防災行政無線 風水害・土砂災害時等の避難指示など緊急の情報をお知らせします。 ○恵那市メール配信サービス 防災などに関する各種情報を、電子メールで配信します。	
ため池の役割	
本ため池の下流にて約7戸の農家が農業用水として利用しています。 また、ため池は降雨時に雨水を一時的にためる洪水調整や土砂流出の防止、水生植物や在来魚の生息の場としての役割を持っています。	

地震発生時の対応
○震度5弱以上の地震発生後(堤高1.5m以上のため池は震度4以上) ・ため池管理アプリにて緊急点検を実施・報告 ○堤体の沈下、クラック、漏水等の異常を発見した場合 ・市町村へ異常を報告、下流住民の避難を実施 ・緊急放流、補修等を実施

事前の備え・情報収集

**気象庁**

気象庁ホームページ

キキクルはここを押す

**恵那市メール配信サービス**

アドレス登録は、こちら →

または、t-ena@sg-p.jp  
まで空メールを送信

「ため池管理アプリ」による事前点検「ため池防災支援システム」による貯水位危険度予測

(A) アプリからの事前点検通知

前線停滞による大雨。安全確保の上、ため池の事前点検をお願いします。

(B) ため池防災支援システムによる貯水位危険度予測基準

洪水吐高さ

水位が洪水吐高さの  
1/2以上 危険  
1/10以上 注意

洪水吐とは？

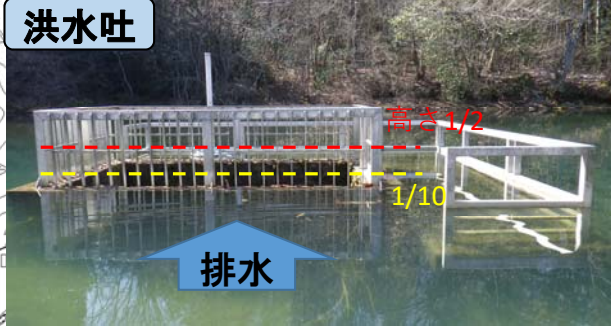
満水位以上の水が流入する時に、堤体を越えて水があふれないよう自然に水を放流する施設です。

- 洪水吐の設計基準
- ・200年に1度の規模の降雨でも安全に放流可能
- ・流木等で閉塞しない大きさ

# 浸水想定区域図 (新堤池)

新堤池は適切な管理がされており、決壊の可能性は非常に低いですが、堤体決壊時の影響範囲を示したものがこの浸水想定区域図です。  
貯留水が一気に流れ出す最も危険な場合を想定し作成されています。  
池の下流にある水田においては、水深が80cmを超える可能性があります。  
浸水想定区域内にお住いの皆さんは、非常時の避難方法を確認しましょう。

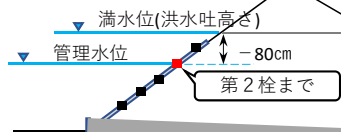
- 避難所  
① 岐阜県森林組合連合会東濃支所



ため池諸元	
新堤池	貯水量 1.8千m <sup>3</sup> 堤高 5.7m 洪水吐形式 水路流入型 改修歴 平成29年度

## ため池管理水位

① 農閑期(10月～2月)



新堤池において農閑期には、低水位管理を行うことで地震による決壊被害を小さくできます。  
大雨や台風通過が予測されるときには、事前に水位を下げておくことで越水や決壊のリスクを小さくできます。

新堤池 管理状況	ため池上流域について
<ul style="list-style-type: none"> <li>草刈り：年2回</li> <li>草刈り時に堤体及び施設の点検(ため池管理アプリや点検チェックシートによる)</li> <li>管理水位：左記による</li> <li>管理手法について ため池管理マニュアル⇒</li> </ul>	上流域には、直接ため池に影響を及ぼす要因はありませんが、浸水想定区域の一部において、土砂災害警戒区域と重なっているエリアがあるため注意が必要です。



歩行困難度判定	水が浸かる深さ	
	浅い ←	深い →
水が流れる速さ	遅い ↑	速い ↓
	0.5m/s	1.0m/s
	可能	危険
	困難	危険